

No.633

7 令和4年
月号

法音

日蓮宗
法音寺

今月のご法話

言葉は人間の命をつなぎます

勇猛精進

まこと
至誠

今日一日

奉仕の心がけで働きましょう

今日一日

人を喜ばせるように働きましょう

今日一日

たゆまず続けてゆきましよう

月刊・法音 令和4年7月号 No.633 目次

【信仰の指針】慈愛じあい 思いやりの心を持ちましよう 1

【朝のこない夜はない】

言葉は人間の命をつなぎます 山首 鈴木正修 2

◆講日のご案内 16

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 15

【特集】全国から届いた感動の声 御開山会生中継 18

◆仏教漫画「日蓮さま」・④鎌倉への道 33

◆保土ヶ谷・帷子の里 41

◆知っているようで知らなかった!?法音寺のこと③① 42

◆お寺の本棚 46

◆のりのね体験 48

◆得度の喜び・支院だより 50

◆福祉のひろば 57

○幸せのお手伝い 58

○昭徳会・永年勤続職員褒賞授与式・助成金交付式・特別褒賞授与式を挙行 60

○【特別寄稿】日本福祉大学付属高等学校 感想文 62

◆幸せの種まき／編集後記 72

◆連載まんが・ひまわり・114 今を生きる 73

◆法音寺の社会福祉・教育事業 73

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書 表紙写真・しょうぶ

掲載写真 表紙・信仰の指針・3～15頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

じ
あい

慈愛

思いやりの心を

持ちましょう

日教五



マタタビ



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

言葉は人間の命をつなぎます

言葉の力は私達の想像以上に大きいものです。何気ないひと言が、時に人を傷つけ、時には人を救うことがあります。

炎の講演家として有名な鴨頭嘉人さんのお話です。鴨頭さんがマクドナルドに勤めていた時、アルバイトの人がどんどん辞めてしまうことがありました。そこで、それを止めるためのプロジェクトリーダーに抜擢された鴨頭さんは退職者の多い店舗の店長を集め、「これから半年間、一人も辞めさせないようにしよう。どんな手を使ってもいい。責任は俺がとる」と言いました。

それから毎月一回、店長達が集まり、それぞれの実践を報告しました。ある店長は給与明細にひと言メッセージを添えることで実績を出しました。君のスマイルはナンバ



「ワンだね」とか、新しく〇〇ができるようになったね、などと書き添えるようにしたのです。それを聞いた他の店長達も実践しました。お互いに励まし合いながら、そのプロジェクトは順調に進んでいきました。ところが、ある店舗の店長だけが途中から会合に来なくなりました。しかし、その店舗では半年間一人も辞めていません。気になった鴨頭さんが直接その店を訪ねてみると、店長がいきなり謝ってきました。

「本当にすみません。忙しくて時間がなかったんです」

「それはいいけれど、半年間、君のところは一人も辞めていないな。何か特別なことをしたの？」

「いえ、特に何もしていません。忙しすぎて考える暇がありませんでした」

「でも去年までは20人以上が辞めているんだよ。何かしているだろう」

「確かに一つだけあります。アルバイトの子が帰る時に



『辞めないでね』と必ず声を掛けるんです」

鴨頭さんは「それだ」と思い、他店でも実践するように

すぐに指示しました。「辞めないでね」という言葉は、

あなたは私にとって大切な存在なんだよ」とアルバイト

の人達に伝わったのです。

私はこの話を知った時、息子の廣修の高校時代の話を思

い出しました。廣修は中学、高校と六年間ラグビー部に所

属していましたが、高校生になって「これからは勉強に力

を入れるからラグビー部を辞める」と言う友人がいました。

そこで廣修が「君が辞めると、とっても寂しいよ」と言う

と、その子が「そうか、ありがとう」と言っ、高校の間

もずっと続けてくれたそうです。たったひと言が友人を変

えたようです。

昔、ヨーロッパに神聖ローマ帝国という大きな国があり、
そこにフリードリッヒ2世という王さまがいました。この



王さまは、人間はすべて自分本来の言葉を持って生まれてくるはずだと固く信じていて、それを証明するために、国中から生まれたばかりの乳飲み児を宮殿に集め、言葉を発するまでの成長を見守ろうとしました。ところが、いくら待っても子ども達は言葉を発しません。フリードリッヒ2世は養育係に「自らの言葉を発するはずだから、絶対に声をかけてはいけない」と厳命していました。ついには、子ども達は衰弱して言葉を発することなく、みんな死んでしまったといひます。子ども達はきちんとならと栄養は与えられていたが、言葉を掛けられなかったことで死んでしまったのです。言葉を掛けるか掛けないかということが、実に生死に関わるほどの重大なことだったのでした。

皆さんは子ども達に声を掛けられることと思ひます。私も去年の暮れに二人目の孫が生まれて、とにかく声を掛けたくなくなります。そういう言葉が愛にあふれた言葉であ



ればあるほど、子どもの健やかな成長につながるのです。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんが優しい言葉を掛けると、それが食べ物と同じように子どもの栄養となっていきます。

言葉にはとても大きな力があるということです。

目も耳も口も不自由な「三重苦の聖女」として有名なヘレン・ケラーも言葉によって救われた人です。ヘレンは1歳7カ月の時、病気で三重苦になりました。家庭教師のサリバン先生に出会ったのは6歳の時です。それまではまるで野生児のような状態でした。サリバン先生に出会ってヘレンは変わりました。ハーバード大学の女子学部を出て、世界的に有名な社会事業家になりました。ヘレンの生涯が『奇跡の人』として有名な舞台や映画になりました。ヘレンは確かに三重苦から世界的な社会事業家となる奇跡を成しとげましたが、この『奇跡の人』という題名は、ヘレ



ンに奇跡を起こした人々を意味しています。つまりこの物語の主人公は家庭教師であるアン・サリバン先生です。

アンも目が不自由でした。彼女が小さい頃にお母さんが亡くなり、お父さんがアルコール依存症となり、重ねて弟が重い病気になりました。そして二人とも救貧院に入れられ、弟はまもなく死んでしまいました。そんな中、彼女の目の病気が悪化していききました。絶望の中にいる彼女に救貧院の看護師が一生懸命に聖書の言葉を語り続けました。そのうちにアンはその女性の聖書の言葉を受け入れ、心を開くようになり、勉強がしたいという思いを持つようになりしました。その後、盲学校に入って一生懸命に勉強をしました。そこで手術をしてもらい、目が少し見えるようになりしましたが、終生、光に弱く、濃いサングラスをかけていました。その盲学校でヘレン・ケラーのように三重苦にもかかわらず、言葉を操る女性に出会いました。それはローラ・ブリッジマンという女性です。その人か



らアンは点字と指文字を教えてもらいました。20歳の頃、アンは首席で盲学校を卒業し、電話の発明者グラハム・ベルの紹介で家政婦兼家庭教師としてケラー家に行くことになりました。アンは人を教えたこともなければ教師の資格もありませんでした。しかし、ヘレンと出会い、情熱的にヘレンを教育しました。そして、あの感動的なシーンです。アンはヘレンの手に水をかけては、「W・A・T・E・R（ウォーター＝水）」と繰り返して指文字で教えたのです。指文字によってヘレンは自分の手に触れているものが水であるということを理解しました。そして、すべての物に名前があることを学びました。言葉によってヘレンは新たな命を得たのです。それがアンとヘレンが出会ってわずか一カ月後のことでした。アン・サリバンとヘレン・ケラーの奇跡の物語は、たった一言、「ウォーター」によって始まったのです。言葉がヘレンの命を育んだのです。



以前、特別支援学校の元教諭・山元加津子先生に法音寺で講演していただきました。山元先生は特別支援学校でサリバン先生のように数々のすばらしい奇跡を起こされました。

最初の奇跡は赴任した当初に起こりました。山元先生が大学を卒業し、特別支援学校に赴任する一年前に、法律が変わりました。特別支援学校が義務教育となったのです。それまでは重い障がいを持つ子どもは就学免除だったので、

山元先生が赴任した特別支援学校の近くに、知的障がいや身体障がいのある子ども達の施設がありました。特別支援学校に通える子はその施設から通ってきていましたが、通えない子は施設の中にいました。山元先生はそういう子ども達の担任になりました。その中の一人にちいちゃんという子がいました。

初めてその施設に行った時、ちいちゃんはラジオもテレ



じもないとても静かな真白い部屋にいました。それぞれの子どもは柵のついた白いベッドに寝ていて、まったく動きませんでした。その施設の園長はお医者さんでもありませんでした。その方が山元先生に「ちいちゃんには脳がないんだよ。だから目も見えないし、耳も聞こえない。何もわからないんだよ。あなたが何をしても無駄だから、そばで時間つぶしに本でも読んでいてくれたらいいよ」と言いました。ちいちゃんには命を司る脳幹はあっても、高度な精神作用を司る大脳がありませんでした。それでも山元先生は、ちいちゃんを「可愛いな」と感じて、毎日抱きしめて「ちいちゃん、可愛いね。大好きだよ」と声を掛け続けました。ちいちゃんはこの時、15歳ぐらいでした。それまで動いたこともないし、触られたこともありませんでした。普通の15歳の子と比べると、とても小さな体でした。華奢な山元先生が簡単に抱っこできるほどでした。ずっと寝たままだだったので、手足が固くなっていました。骨も脆くなってい



ました。山元先生は、そのちいちゃんを毎日抱いては「可愛いね。大好きだよ」と声を掛け続けたのです。

ある日、看護師さんが「山元先生、大変なことがわかりました」と言いに来ました。山元先生は、私が抱っこしすぎてちいちゃんを骨折させてしまったのか？と思いましたが、違いました。看護師さんは言いました。

「ご存知のようにあの部屋の子ども達は、身体をまったく動かしません。音も立てません。だから本当に静かです。

ところが朝8時のおむつ替えをしている時に、ちいちゃんだけが手足をバタバタ動かすんですよ。どうしてなんだろう？と思っていたのですが、わかりました。山元先生、あなたがやってくるからです。他の人の足音とあなたの足音を聞き分けて、ちいちゃんはあなたが来るのが楽しみで、待ち遠しくて手足を動かすんです」

それを聞いて、山元先生はうれしくて号泣しました。それからより一層ちいちゃんに寄り添うようになりました。



「可愛いね。大好きだよ。愛してるよ」と毎日声を掛けました。そうしたら、「大好きだよ」と声を掛けると、ちやんが微笑むようになりました。「今日は先生これで帰るよ」と声を掛けると、悲しそうな顔をするようになり、そのうちに泣くようになりました。言葉を掛けられたことがないちいちゃんが、言葉がわかるのです。

こんなこともあったそうです。くすぐり遊びで山元先生がこちよこちよと真似をするだけでちーちゃんは笑うようになりました。園長にその話をする、「それは単なる反射にすぎません。脳がありませんから」と言いました。でも山元先生は思いました。

触ったことによる反射じゃない。私にくすぐる真似をしただけでちいちゃんはくすぐられることを察知して、笑っている。喜んでいいる。これは普通の人間の反応だ。期待する気持ちがちいちゃんには間違いないがある。

それから山元先生はちいちゃんに絵本を読むようにしま



した。きつねの親子の物語です。悲しい場面になると必ず
ちいちゃんは涙をポロポロと流しました。

山元先生はこの経験から「どんなに重い障がいがあっても、どんな状態にあっても、誰もが深い思いを持っているという確信を私はちいちゃんから得ました」と言っておられます。また、この経験が、それ以後の特別支援学校での子ども達に対する指針になったそうです。

どんな人に対しても愛のある言葉をその魂に語りかければ、その人間の奥深くに語りかければ、その人に命を吹き込むことができるのです。言葉は食べ物以上に人間の命をつなぐものです。言葉は大切です。愛語を使いましょう。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。
是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

岐阜支院	7月4日(月)	四日市支院	7月13日(水)
福山支院	7月18日(祝)	東京支院	7月23日(土)
大阪支院	7月31日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	3日・10日・23日・30日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	12日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	10日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・23日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ☎連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・10日・23日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・12日・18日・23日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	3日・16日・24日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・24日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・12日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	3日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	10日・23日・31日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	9日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	3日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	9日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	3日・7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	3日・18日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	9日・24日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	2日・24日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	10日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	3日・15日・17日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	10日・24日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	10日・24日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・24日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	10日・19日・30日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	11日・24日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)



【特集】

全国から届いた感動の声

御開山会生中継

令和4年の御開山会は全国に生中継されました。各支院・布教所は当日を講日とし、多くの方がご視聴されました。皆さんの声をご紹介します。



東京の人



- 映像がすばらしく、現実以上に身近さを感じました。
- 散華が舞ううち、御前さまが会いに来てくださったような気持ちになりました。
- カメラを通してお上人方の所作や表情まで見られ、とても良かったです。
- 画面から、本山の法要の荘厳さがひしひしと感じられました。
- 山首上人さまからの御経頂戴の時に

は、自分一人に直接問いかけられているかのような迫力を感じました。

静岡の人

- 本山に行って参詣している気分になりました。画面もきれいで臨場感にあふれていました。
- 山首上人さまのお話に引き込まれました。身の引き締まる思いです。
- 新たな形で参詣でき、感動しました。
- 山首さまのお話をうかがい、身につまされました。
- 山首上人さまのお話を拝聴し、お題目のすばらしさに感動しまし



た。改めて主人と一緒にお題目をお唱えしようと思いました。感謝感謝です。

豊川の人

- 杉山先生のお話に感動しました。これからも精進していきたいと思えます。
- 本山に参詣したような気分でお参りました。また、実際に本山に参詣したくなりました。
- おじいちゃん、お父さん、お母さん、姉妹三人、家族みんなで来ました。全部楽しかったです。
- リモート法要という形でも皆さんと一緒に参詣することができ、とてもう



れしく思いました。

安城の人

○毎年の本山参詣の感激と同じでした。体もゆつたりと安らぎながら、お徳をいただくことができ、ありがたかったです。

○法要が始まり灑水散華が行われた時、私の体の中にも法雨が降りました。感激でした。



○山首上人さまご法話で、杉山先生のご生涯をお聴きして、すばらしいご法にご縁をいただいていることを改めて感謝しました。

明川の人

○御開山会の雰囲気や堪能することができて感動しました。

○山首上人さまのご法話で杉山先生の逸話をうかがい、本で読んだ時より大きく胸に響きました。

佐屋の人

○100インチの大画面で拝見すると、自分もその場にいるかのように感動し、ありがたく思いました。

○スクリーンを介して御開山会に参加できたことに感謝です。日々、精進を心に誓いました。

○初めてのリモート御開山会に感激し、本山からのすばらしい中継に感謝いたしました。



○山首上人さま、お上人方の表情がよくわかり、とても良かったです。また、山首上人さまのご法話をお聞きし、改めて感動いたしました。

西春の人

○中継でしたが、山首上人さまのお顔



呪を唱えて仏徳を讀え、諸善奉行を発願し、鏡鈸を奏して讚歎供養します

を近くで拝見でき、身近に感じることができました。

○全国一斉に御開山会が開催されて、とてもありがたいです。式次第も表示してくださったので、一つひとつの意味を深く知りながらお題目をお唱えすることができて良かったです。法に出会えたことに感謝し、三徳のみ教えを大切にしていきたいと思えました。

○御開山会にて、三徳の実践を改めて心にお誓いしました。日頃、何となくお参りしていたので、少しでも実行できるように努力していきます。



○足を重ね、電車で本山へ参詣するところがなかなかできなくなったので、中継は大賛成です。

○中継はいえ臨場感があり、離れている感じがせず、参詣できてよかったです。

一宮の人



す。
○式次第が表示されていてわかりやすかったです。

岐阜の人

○本山への団参とはひと味違う御開山会でした。法要式次第の内容もスクリーンに文字で表されて意味がよくわかりました。山首上人さまのお話をうかがい、杉山先生の偉大さ、すばらしさを感じました。



○生中継で参詣できたことを大変うれしく思っています。カメラワークもすばらしく、臨場感があり、感激しました。コロナ禍に新しい企画を立てていただいて本当に感謝しています。一日も早く色々な行事が再開されるよう祈っています。

○御開山会を心待ちにしていました。リモートでしたが、本山に参詣したような気持ちでした。

○山首上人さまのご法話の中で「人間に生まれてくることができたことの尊さ」を改めて実感し、少しでも自分のできることでお徳を積む大切さを思いました。

○初めから終わりまで、感謝と感激のひとつ時でした。本山にいるような心持ちで、ありがたく、一心にスクリーンを見つめました。心が軽くなりました。

○身体は支院ですが、心は本山へうかがっているような体験でした。同じ日の同じ時間に全国の檀信徒の皆さんとつながって、幸せなひと時でした。内

容も画面下に説明があり、とてもわかりやすかったです。

大垣の人

○実際の参詣とは異なり、山首上人さまのお姿を身近に感じることができ、これまで見ることでできなかったお上人方の所作も直接見られて良かったと思います。これからも中継があれば、ありがたいです。
○とても感動しました。色々な災難が次々と起きています。私達は信じる教え



があり、本当にありがたいと思います。三徳の実行をこれからも続けていくことをお誓いしました。

○生中継でも山首上人さまにお会いして、お言葉をいただけることをとてもうれしく思います。法要も説明が添えられていて、わかりやすかったです。千羽鶴を見て、御徳を積まれる皆さまの様子がかげえ、私も見習わなければと思いました。

○地元の支院で参詣できるのは、高齢者や都合で本山まで行くことができな人にはありがたいことです。新しい試みで、全国の檀信徒と一緒に参詣できて良かったと思います。

○山首上人さまが内陣で勤行されるお姿を拝見しました。この良き時を心に刻めたことがとてもありがたく、感謝に堪えません。

関の人

○ご宝前の山首上人さまやお上人方の所作が身近に感じられ、感動しました。



○山首上人さまのご法話の中で紹介された杉山先生のお話は、義母からよく聞いていました。なつかしく思い出しました。

○介護中で本山まで行けないところ、支院でお参りができ、本山へお参りした気分が味わえました。

○体が不自由なため、なかなか参詣できなかつたのですが、今日は娘に連れられてきてもらい、お参りできてうれしかったです。

○山首上人さまが杉山先生のことを詳しく、わかりやすくお話しくださったことを胸に刻んで徳積みに励みます。

平賀の人

○山首上人さまのご法話を支院にいらがら聴くことができて感激です。

○山首上人さまのお姿が大きく映り、身近に感じながらお参りができました。

○「あたりまえ」のことが普通にできることのあること、の「ありがたさ」を教えてください、改めて感謝の気持ち



ちを持てた一日でした。

○往き帰りの負担がなく、安心して参詣できました。

○今まで見ることでできなかった部分も見せていただきました。資料にあったメッセージもゆつくり読ませていただきました。

郡上八幡の人

○本山へのお参りがかなわない現状で、このように本山の様子を中継していただいております
ことは本当にありがたいです。世界の人々の平和と幸福を願っております。

○久しぶりに本山の法



要に参加させていただきました。法要中のお上人方の表情や所作も拝見でき、とても新鮮で、心が落ち着きました。

○何十年前前に本山にお参りしていましたが、今日久しぶりにお参りできて心が洗われるような、何かしびれるような感じになりました。

○足が弱ってきたため、お参りができなと思っています。御開山会に、本日は支院にてお参りができました。ありがとうございました。

四日市の人

○御開山会にリモート参加でき、本当にうれしく思いました。山首上人さまのお話の中に杉山辰子先生のお話がありました。「今世、人間に生まれても来世ではわかりません。人間に生まれて、生前に良いことをどのように実践し何を信仰していくかは、自分で見つけなければなりません」という杉山先生のお言葉をお聞きした時に、ハッと

させられました。

○「人として生まれ、

生きている時しか、徳は積みません。ありがたいと思う

心になり、自分の人生が甦ります」というメッセージに、

私も今日一日、今日一日と徳積み

を頑張ろうと思いました。

○人として生まれたことに感謝して、徳を積み、法華経を心の支えに精進していきます。千羽鶴もきれいに飾られていて感動しました。



上野の人

○リモート開催のお陰で、参加させていただくことができ、本当にうれしかったです。山首上人さまのお話をうかがい、改めて信心を強く、お題目を唱え、人のために働きたいと思いました。

○本山の近くに住んでいるので、仲間の方々とバスで団参できることをあたりまえと思いついておりました。中継にはもち

ろん感謝いたしますが、志を同じくする者同士で本山の法要に参加し、山首上人さまのご法話を直接うかがい、先師の墓参ができるありがたさを改め



て認識いたしました。

○人間界に生まれることができるのは大地の土の数に対して爪の土ほどの確率であり、ましてや法華経に出会える確率はさらにとつともなく低いのだそうです。私達のこの奇跡のような幸運に感謝感謝です。

○画像や音声、想像以上にクオリティが高かったので臨場感がありました。また、お寺の中がしっかりと遮光されていたので画像の解像度が上がり、まるで、法音寺に実際に参詣しているような気持ちになりました。また、山首上人さまやお上人方の法要中のお姿を拝見できたので、大変ありがたかったです。コロナ禍というのは、何もかも辛いことと考えがちです。ただ、知恵と工夫によって災いを福となすこともできるはず。この度の試みがまさにそれで、ありがたい体験をさせていただきました。さすが、法音寺です。これからも、出会うことすべてを仏さまからの贈り物と考え、自らの喜びとできるように精進していきたいと思ひます。

京都の人

○御開山会は本山へ参詣するのがあたりまえと思っていました。コロナ感染防止のため、不安に思っておりましたが、同時中継のお陰で異体同心となって参詣ができ、本当にありがたかったです。

○御開山会は「先師の恩に感謝し、法を伝える誓いを立てる日」とパンフレットにありました。先代日達上人のご



遺言である「生きている間しか徳は積みません」のお言葉を胸に、しっかりと三徳の実行に励みます。

○リモートでの法要に参加して、映像を通して、本山に沢山あるお徳をいただけたように感じました。

○本山へ団参した時は、本堂外陣の後ろの方からの参詣でした。今回のリモート法要はとても臨場感があり、よく見えたのでうれしかったです。

○時代に配慮した法要だと思いました。本山にも参詣したいので、諸事情で参詣できない人はリモートで、そうでない人は本山参詣と選択肢が広がればいいのではないかと思います。

高槻の人

○パンフレットが良かった。式次第の意味合いやお経本のページ数まで書かれていて大変参考になりました。

○いつもなら遠くてよく見えない山首上人さまのお顔や、式衆の所作などをアップで拝見することができたので感



激しました。

○先月亡くなった母の二七日が偶然にもこの日と重なり、母の遺骨を抱いて支院にお参りすることができました。亡き母もさぞかし喜んでいると思います。

○本山から遠い支院の方々とか、高齢になって本山に行くのがむずかしい方にとって、支院で山首上人さま大導師

の法要に参加できて、ご法話も聞かせていただける機会は本当にありがたいと思えました。今後も本山行事にリモートで参加できたらありがたいです。

○初のリモート開催の御開山会に参加して、本山にお参りしているような厳肅な気持ちになりました。山首上人さまのご法話で、功徳を積むことや信じることの大切さを改めて実感しました。

大阪の人

○いつも行ける人はいいけど、そうでない人のために、これからも同時生中継の機会を作ってほしいと思います。

○本山に参詣することはすばらしいのですが、大勢の中でお話の声を拾うのがむずかしいです。お話の内容は今日のリモートの方がわかりました。

○映像を見て、本山に行きたくなりました。

○一人で参加するのが無理な年齢になったので、こんな機会がありました。



○本を読んでも、山首上人さまのお言葉で改めてお聞きすると、とても心に響いて原点に戻れました。特に大阪支院の方のお話が出たので感動し、みおのともしび」を読み返そうと思いました。

和泉の人

○今年には各支院でリモート参加ができて身の引き締まる思いです。改めて先師のご恩に感謝し、人の役に立つ生き方をしようと思えました。

○中継のおかげで御開山会に参加できたこと、感無量です。画面に表示される説明がわかりやすく、より一層心に染みる時間となりました。普段は見られない角度から法要の様子を知ることができ、貴重な体験となりました。ありがとうございます。

○山首上人さまを間近に拝見できる技術に感謝しました。山首上人さまのご法話を拝聴し、三徳の実行の大切さを感じました。



○映像には法要の説明もあり、大変わかりやすかったです。山首上人さまのご法話に、改めて信仰の真髄を感じました。

○法要中、スクリーンいっぱい荘厳な御宝前を見ながらお経を唱えさせていただけますとありがたい空気に包まれて、まるで本山の本堂に座らせていただいているように感じました。安立

大法尼の神通力のお話を拝聴し、また明日からお徳積みに励もうと心新たに
お誓いしました。

神戸の人

○山首上人さまはじめ、お上人方の所作やお顔を、映像を通してさまざまな角度から拝見でき、新鮮に感じました。本山の法要に参詣させていただいてい



るような臨場感を味わいました。ご高齢の方や、本山へは遠くて行けない方も、支院においてリモートで法要を見ながらお勤めができるので、とても良いことだと思いました。

○リモートでの御開山会に、家族で参詣させてもらいました。法要中の映像に表示される式次第の説明や、お経の解説はとてもわかりやすく、リモートの良さを感じました。すばらしいと思いました。

○新型コロナウイルス終息祈願のために、一生懸命折ったお題目写経の千羽鶴が飾ってあるのを見て、うれしく思いました。一日も早くコロナが収まり、本山に行ける日が来ることを楽しみにしています。

○スクリーンに写った山首上人さまのお顔を拝見し、涙が出るほどうれしく、ありがたく思いました。どんな時も、ありがたいと思う心を持って、今日一日、今日一日と頑張っていきたいと思っています。

○山首上人さまのご法話で、始祖・杉

山先生のことを聞かせていただき、法華經に出会えたことに感謝しました。改めて、三徳の実行を心に誓う日となりました。先師のご恩に感謝し、一つでも自分のできる徳積みをしていきたいと思えます。

淡路の人

○御開山会にリモートで参加させていただいたこと、本当にうれしくありがとうございます。山首上人さまのご法話の中に杉山辰子先生のお話がありました。今世、人間に



生まれても来世ではわかりません。人間に生まれて、来世に向けて生前にどのような良いことを実践・信仰していかかは、自分で見つけなければなりません」とのお言葉をお聞きした時に、ハッとさせられました。

○「人として生まれ、生きている時しか、徳は積みません。ありがたいと思う心になります。自分の人生が甦ります」というメッセージに、私も「今日一日」と徳積みを頑張ろうと思いました。

○人として生まれたことに感謝して、功徳を積んで法華経を支えに精進していきます。千羽鶴もきれいに飾られ良かったと思います。

岡山の人

○画面に字幕が流れ、説明してくれたことにより大変よく理解できました。

○今回は法要中の山首上人さまの顔を拝見できて、とても新鮮で感動しました。

○新たに身が引き締まる気持ちになりました。

でも、早く本山へお参りできるよにならばよいと思います。

○なかなか本山へお参りできません。支院で参加できて、幸せをいただきます。

○今後リモートが増えるとよいなと思います。



福山の人

○御開山会に参詣したことがなかったので、法要を見て内容がよくわかり、

色々と意味があるのだとわかった。

○山首上人さまのご法話に感動しました。御法を続けてきて良かった。

○しばらく本山に行けていないので、懐かしい思いで参詣でき、本山にお参りしたいと感じました。

○支院にてリモート参詣できるので、母も参詣できて良かった。本堂のお上人方のアップの映像を拝見できて良かった。

○本山に参詣した時には、お上人方の細かい動きがわかりづらかった。リモ





ト開催で、お上人方の動きが見られて良かった。

三原の人

○近年は体調の関係で本山までお参りできなかったのですが、リモートでお参りできて良かったです。

○守護神と一緒に参りすると良いとお聞きしましたので、お舅さんと主人の守護神と一緒に参りさせていただきました。

○スクリーンを通して、山首上人さまやお上人方の尊い読経を聞いていますと涙がこぼれます。「人の



役に立つ生き方」を、いつも心に持って生活したいと思います。早くコロナが収まり本山の御開山会に行きたいです。

○山首上人さまがお話くださった「先師の教えを信じて、精神的・物質的に功徳を積んでください」を、自分のできることで実行して行きたいと思いました。

安芸津の人

○支院で御開山会に参加でき、慶びもひとしおです。太鼓の音で開式、山首上人さまのお顔を間近に拝見できました。厳かな読経と式次第には字幕の説明があり、臨場感あふれる画面にありがたさが増します。山首上人さまのご法話を拝聴し心を新たにしました。

○リモートで参詣でき、改めて先祖の恩に感謝し「利他の行」への思いを強くしました。

○今年の御開山会はとても荘厳で大変感動いたしました。日達上人の「生き

ている間しか徳は積みません」という教えを再度心に誓った一日でした。今生かされていることに感謝し、少しでも徳を積んでいこうと思いました。

○山首上人さまのご法話をうかがい、忘れていたことを思い出させていただきました。

○毎年、御開山会に参詣させていたただいておりましたが、足が悪く耳も遠くなり参詣がむずかしくなりました。リモート法要のお陰で御開山会に参詣できて、大変うれしく感謝しています。またリモート法要をお願いします。三徳の実践をお誓いします。

坂の人

○リモートでの参加に緊張しましたが、山首上人さまのお声もお話も直接聞かせていただき、とてもありがたく思いました。

○皆で一羽ずつ心を込めて折った折鶴を見せていただき、あの時を思い出し、うれしかったです。

○山首上人さまから、お二人の体験をうかがい、法華經に守られている証だと思えました。

○本堂の様子やお上人方のお顔もアップで拜見できてよくわかり、とても良かったです。

○山首上人さまのお話が本当にすばらしく、お話を聴けて良かったです。



福岡の人

○リモートで山首上人さまのお話を聴けたことはありがたく、6月は御恩に報いるような月にしたと思います。

○山首上人さまのご法話で、大難が小難のお話を聴き、自分もそういう働



きをしなければ、と思いました。お寺にお参りするときは必ず、船か飛行機に乗るので、搭乗する人が全員無事に目的地へ着けるようお題目を唱えようと思えます。

○3年ぶりに（リモートで）参加できて心が安らぎました。今後コロナ等の感染が広がってもリモートで全国につ

なれば、行事を中止する必要はないので良いと思います。

○来年は名古屋での御開山会に行きたいとつくづく思いました。お題目を唱えることを第一に、改めてまた日常生活を送ろうと思います。

○沢山の方のご尽力で本山での法要に参加させていただけること、ありがとうございました。しかし、本山にお参りさせていただく緊張感や空気感は何ものにも代え難いと改めて感じます。コロナ禍の一日も早い終息を願います。

田川の人

○配信を見ていて、私自身、身体が温かくなりました。そして、山首上人さまの声と表情がピンピンと伝わりました。

○見ているとまるで、そこにいるような心持ちになりました。

○山首上人さまのお言葉で、杉山先生のお話が心にスーッとしみ込みました。本当にこれから、しっかりとやらな

ければという気持ちになりました。

○私は御開山会には行ったことがなかったけど、初めて拝見して感激しました。この次は是非！行きたいです！

○私は、毎年行きたくても行けないのですが、今回このようにリモートで見せていただいて、本当にありがたかったです。



亀岡の人

○遠く離れていても、読経が始まると一瞬にして名古屋と亀岡がつながる気がしたい一日でした。



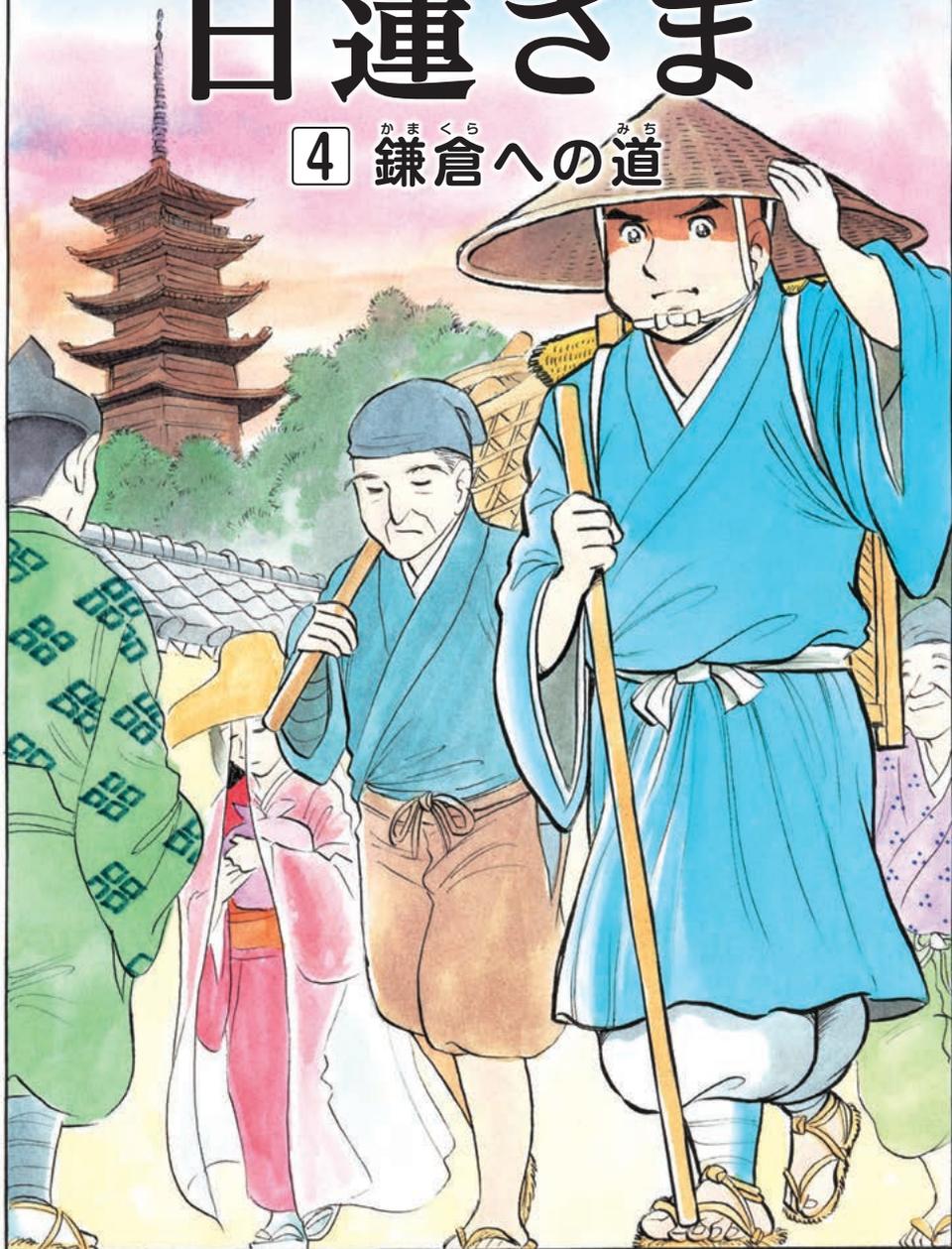
○名古屋の本堂では遠くからしか拝見できないお上人方の所作を近くではつきり拝見できたことが感動でした。

○山首上人さまのお話も、ゆっくりとお聞かせいただき良かったです。

に ち れ ん

日蓮さま

4 かまくら への 道



蓮長（日蓮聖人）が
清澄山を下り鎌倉に
向かったのは
暦仁元年（1238年）の
秋のことでした



わたくし修行僧の身
一夜の宿をお借り
できませぬか

何もおかまいは
できませぬが
どうぞ…



こんなものしか
ございませぬが
ゆっくり
していつて
くだされ

かたじけのう
ございます



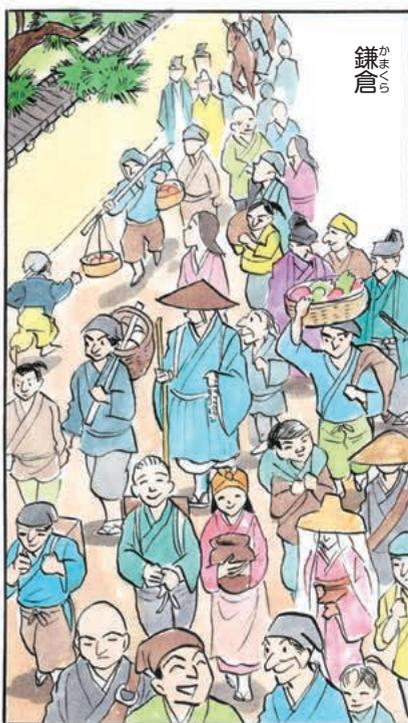
仏さまでは
ないですか

なんと
もったいない
ことを…

八八八…
それは木偶に
過ぎませんよ

え？
仏さまが
木偶？







大丈夫ですか

はい

ありがとうございます
ごぞうます

道を
あける

鎌倉は
はじめてでっか

ええ



あの…
霧ヶ沢好見とは
このあたりでしょうか

ええ
ごぞうます

お坊さまの
家をさがして
おります

もしかして
大阿上人の
お住まいを？



そうでしたか
実は私もこれから
そこへ参るところ
です

ご一緒
しましょう

すごい人
ですね

今鎌倉じゃ
大阿上人は
時の人ですからね

静かに！

大阿上人の
おでました！

皆の衆
よーく聞かれよ

わが師匠 法然上人は
生まれながらにして
非常に頭のいい人であったが…

恵心僧都の「往生要集」を
読み一切の経論を捨て
念仏宗を打ち立てられたのである

どんな逆賊
悪人であろうとも
「南無阿弥陀仏」と
唱えさえすれば
たやすく往生
できる

疑ってはならぬ
法華や真言では敵しい行を
重ねた者 怠らず修行を積んだ者が
極楽往生すると教えるが…

わが宗派は
さにあらず！

念仏さえ
唱えれば
罪深き凡夫が
救われるのだ

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

ありがたや
ありがたや

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

この恐ろしき世も
一炊の夢

思い煩うことなく
念仏さえ唱えれば
極楽往生だ 八八！



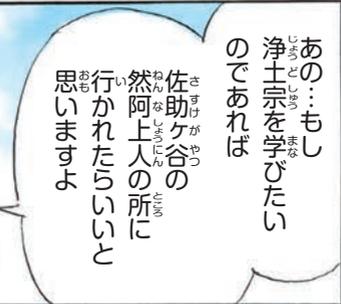
じゃー
町に繰り出し
大いに
楽しもうでは
ないか
うんうん



修行しなくても誰もか
極楽浄土に行けるならは
大衆は喜びましようね
ですから誰もか
念仏になびく
のですよ



学ぶことはまだ
たくさんありますね



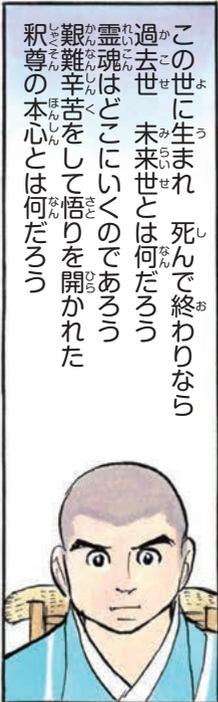
あの…もし
浄土宗を学びたい
のであれば
佐助ヶ谷の
然阿上人の所に
行かれたらいいと
思いますよ



ご親切にありがとうございました



まことにこれで
よいのだろうか
好き放題をするために
我々は人間として
生まれてきたのだろうか



この世に生まれ 死んで終わりなら
過去世 未来世とは何だろう
靈魂はどこにいくのであるう
艱難辛苦をして悟りを開かれた
釈尊の本心とは何だろう



私は仏の教えの
根本が知りたい

念仏宗の開祖
法然上人の孫弟子である
然阿上人は蓮長の思いを
快く受け入れました



蓮長は念仏宗を
熱心に研究し
法然上人の「撰撰本願念仏集」を
すぐに会得してしまいました

数年後



蓮長さん！
お久しぶりです
熱心に勉強されてる
そうですね

その節はたいへん
お世話になりました



えっ
大阿上人が
亡くなった!?
なった!?



飛ぶ鳥を
落とす勢いの
大阿上人が!?



どうされ
ました?

お上人の付き人を
していた人の友から
聞いたのですが…



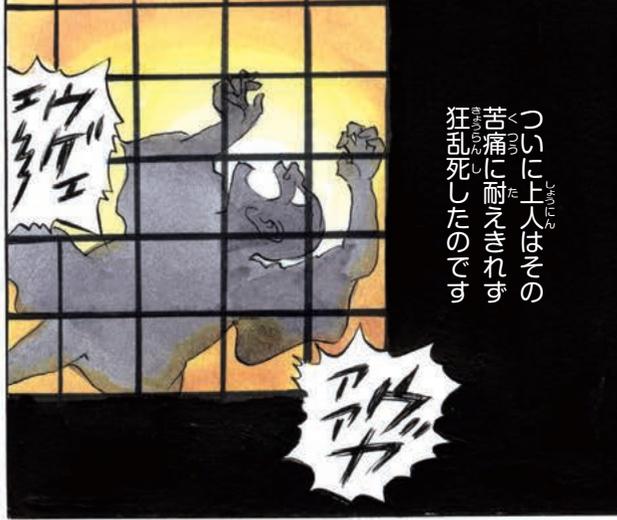
大阿上人は悪い
病気にかかり



付き人は側にもいられなかった
そうですね



ついに上人はその苦痛に耐えきれず狂乱死したのです



あの大柄なお方がまるで赤子くらいに縮み色は墨のように真っ黒だったそうです

な　なんと
浅ましい
死に方…



出家し道徳田満の上人が何年もの修行の効果もなく臨終に正念を失い地獄に墮ちるといっのは…

仏の御心にそむいたことへの厳罰ではなからうか



その後蓮長は禅についても字ひ続けました



念仏も禅も人々を救うにはいたらないではないか…



ひとたび安房に帰り師の御房に会い父母の安否も問うことにしよう



おわり

保土ヶ谷・帷子の里

蓮長（日蓮聖人）が清澄山を下り、鎌倉に向かったのは暦仁元年（1238年）の秋のことでした。蓮長は隅田川を渡り、武蔵野を横切り、保土ヶ谷の帷子の里にあった民家に一夜の宿をお願いました。

その夜、玩具箱の中に釈尊の木像が入っているのを見て、「なんともつたいないことを」と言つと、家主は微笑んで囲炉裏の灰をかきながら「それは単なる木偶に過ぎない」と言います。家主は鎌倉の大阿上人から、念仏を信仰すれば極楽往生は間違いないと聞き、それ以降、持仏の釈尊を取り除き、棄てるのも惜しいのでとっておいたところ、子ども達が遊びに使つようになったと言います。そして鎌倉では大阿上人の説法を聞くように勧めたのです。

大蓮寺は、神奈川県横浜市、JR保土ヶ谷駅より北へ徒歩6分に位置する日蓮宗の寺院です。蓮長が滞在した民家の跡には後に法華堂が建てられ、その法華堂を起源として江戸初期の慶長13年（1608年）に大蓮寺は創建されました。

※写真は「神奈川県観光ガイド」Webサイトより



知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと ③①

障がい学生と日本福祉大学

今でこそ身体障がい者が大学に通学するのは普通となりましたが、その昔、日本には車イスの学生を受け入れる大学はありませんでした。昭和52年、日本福祉大学は日本で初めて車イスの学生の入学を認めました。受け入れにあたっては問題が山積しましたが、「万人のための福祉」をかかげた大学の真価が求められる出来事でした。

昭和52年3月3日の朝日新聞には次のような記事が掲載されました。

「ためらいがなかった、といえぼうそになります。この施設で四年間、預かれるか、と考えると」

福祉を専門とする大学、現存の設備でよしとする合格者には門戸を開くという学則、入試前に大学を見に来て学生の親切さに心打たれた母親、入試の優れた成績、この大学だけを受けて将来、体ごと福祉と取り組むという強い希望。

教授会から決断を求められ、「入学を拒むことはできなかつた。できるだけのこととはしてあげよう、と」。



学生部長への指示第一号は「君が車イスに実際に乗り、学内を回りなさい」。おまるを使う便所は、建物の一角に決めた。段差をスロープにする工事もする。数百万円かける。学費が安い方の指折りという小さな私学にして。

6歳の時、脊髄炎にかかった姫路市本町、白石真帆さん（18）が、当の人。「合格発表直後に自宅へ飛んで励ました学生がいます。階段はおぶってあげるといふのや、下宿探しにかけずり回っているのもいて、学生は燃えています。驚いたことに、新聞で知った市民生局の方まで見え、地下鉄に乗られる時は介護員を出すって。もともとは、全国に30の末寺を持つ名古屋の大乗山法音寺二代目山首。父の死後、32歳の冬百日間、三時間ごとに水をかぶるといふ身延山の大荒行に耐えた。6福祉施設と三好学園を年間数十億円で経営する。引き継いでからほとんどの建物を鉄筋にし、福祉大には経済学部も増設した腕前だ。

しかし、こんどの反響の大きさには打たれた様子だ。「本人、学生、大学、社会、

そして私にも、生きた福祉の勉強になりそうです。クラブ活動してもらい、パ
リンピックもめざして……。ただ、来春、車イスの志願者がわんさときたらどうし
よう、と少し心配になってきたそうである。(海)

【鈴木宗音氏】名古屋生まれ。早大教育学部卒、教育学修士。三十四年日本福祉
大学助手、三十七年亡父のあと法音寺山首、社会福祉法人昭徳会、法音寺学園理事
長。四十六歳。

大学が障がい者を受け入れるには、施設・設備の改
善だけではなく、学生を含めた大学関係者の協力体制
が必要となります。「万人の福祉のために真実と慈愛
と献身を」という教育精神を今こそ発揮する時でした。

参考文献



『大乗山法音寺三徳
開教百年史(4)』



お寺の本棚

大切な妙法の字義

『続 現代生活の指針』



「妙法」の妙の字は「不可思議」と訳するのであります。不可思議ということは、人の智慧をもっておしはかれないことです。「不可思議

とは大慈悲心これなり」「大慈悲を以て諸事を弁ずれば弁ぜざるなし、これを不可思議という」と御義口伝に説明されてあります。何事でも相手を思いやり、協力的な考えでしなればことを成就することはできないが、相手の事情をよく察し、相手の心に叶うようにすれば何事でも成就します。

たとえば親子、夫婦の間柄でも、相手の心にあうように、進んで相手をいたわり慰めるように、あるいは言葉で、あるいは物質的にもことを運べば、必ず楽しくもまた愉快的な結果となり、また自分の考えもいれられまして楽しいものです。相手に従って進む大慈悲心があれば、むずかしい問題でも必ず解決するのです。これは人の智慧でもおしはかれない不思議な働きです。「人に従って従える」という古言もありますが、人の力ではできないように思われることがいとやすく成就するというのが不思議力です。

すなわち「妙」という字は不思議の力をあらわすと読んでもよいわけです。





「法」とは教とも訳し、天地宇宙の法則ともいえるのであります。

「蓮華」とは因と果を蓮華にたとえた文字です。

蓮というのは、良い原因によって美しい香、良い華を咲かせるような良い種のことです。良い行いをして良い種をうえることです。

華は香もゆかしく美しい結果をうることです。日蓮聖人は因行、果徳とおっしゃったのです。幸となるべき原因になる良い行いをすれば、その結果として人としてなくてはならない徳が身にそなわり、さいわいが続くということであります。

なお、妙法蓮華の下にある「経」という字はしめくり、あるいは結ぶという意味ですから、「成仏」すなわち仏の境遇となるの意をもっているのであります。同じ経という字でも、その上の文字によって変わっていることは、南無という字義と同じです。妙法の教えによって、良い行いをして徳を積みめば、仏の境遇の人となるのだと示すのが、「妙法蓮華経」であります。

このように立派な行いをするには菩薩としての自分が本来の使命にかえたことになるのです。これを南無というのです。また自分の本来の使命にかえるために妙法蓮華の行いをするのだと解してもよろしいのです。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、
法音寺本山、または各支院・布教所
までお問い合わせください。

ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

保育者の笑顔で保護者も
子どもも笑顔になる

R君との出会い

私が天王保育園に勤めて六年目、年少クラスを受け持った時のことです。年少クラスを受け持つのは三度目で、その時に出会ったのがR君。R君は3歳児の中でも月齢が低く、ほかの子より少し幼い印象でした。入園当初は初めての集団生活に落ち着かず、部屋を走りまわったり、言葉も少ししか話すことができません、思いをつまく伝えられなかつたりしていました。活動する時は補助の保育者がそばにつき、イラストや物を見せながら簡単な単語で伝えたり、一緒に行ったりし、毎日いろ

いろなやり方を試して、補助の保育者と話し合いながらR君に合った保育を心掛けました。

入園して一カ月ほど経った頃です。言葉も少しずつ真似しはじめ、初めて自分の名前を言い、初めて私の名前も呼んでくれた時は、ただただうれしくて感動したことを今でも覚えています。子どもの吸収力や成長は目に見えてわかり、子どもって凄いなと改めて感じました。

入園間もない頃は母親は「この子しゃべらないから」「家だと嫌なことをしてくる」と困っている様子で、話していても表情が読めない時が多々ありました。しかし、「こんなことができるよう

になった」「担任や友達の名前が言えるようになった」等、可愛い姿、成長している姿をたくさん伝えたことで、「家でもお手伝いしてくれる」「こんなこと言ってくれた！」等、母親の子どもに対する見方がポジティブに変わり、母親にも子どもにも笑顔が見られるようになってきたのです。

R君、そしてその時の年少クラスとの出会いを通して、どうしたらクラスがまとまるのか、どのように保育をしていけばいいのか、なぜうまくいかないのか悩みましたが、自分だけで抱え込まず、まわりに相談することや子ども一人ひとりの個性を大切に、その子に合った関わりをしていかなければいけないこと、保護者も子どもも、保育者の関わり方や伝え方、声掛けの仕方次第で変わっていくことを改めて実感しました。また、保育者が笑顔でいることで保護者も子どもも笑顔になる

ことを感じられた一年でした。これからも保育園を利用している保護者や子どもが、安心して楽しく、笑顔で保育園に通えるよう心掛けていきたいと思えます。

天王保育園 保育士 高山 梓



永年勤続職員褒賞授与式・助成金交付式・特別褒賞授与式を挙



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会

～昭徳会創立110周年及び社会福祉法人改組70周年記念～

令和4年6月1日、法音寺本堂にて「永年勤続職員褒賞授与式」並びに「助成金交付式」が執り行われました。また、今年度は昭徳会の創立110周年を記念して、「特別褒賞授与式」も執り行われ、長年にわたり昭徳会を支えてくださった、勤続40年以上の正規職員と、勤続20年以上のパート職員の方に特別褒賞が授与されました。

式典では、鈴木正修理事長（法音寺山首上人）より、「永年勤続褒賞というものは、ただ単に長く昭徳会に在籍されていることを讃えるものではありません。それだけの期間を昭徳会とともに歩み、利用者の方々の幸福に寄与し、なお今日の昭徳会の発展に貢献されているからこそ、褒賞に値するのであります。今後とも職員の皆さまが健康に留意され、さらなる活躍をされるよう、心から期待をしております」とのお言葉が贈られました。

今年度は、永年勤続職員褒賞対象者38名、助成金交付対象者20名。そして、特別褒賞の勤続40年以上の正規職員4名、勤続20年以上のパート職員15名の延べ77名に対して、賞状と褒賞金及び助成金が鈴木理事長より直接授与されました。

式典の最後には、受賞者を代表して、勤続30年褒賞の



須田哲生さん（障がい者支援センター高浜安立・地域生活支援コーディネーター）より、謝辞が述べられました。「これまで職員の仲間と一緒に考え、学び、協力して支え合えたことが宝となっています。迷いつつもみんなの前に進めてきた、そんな30年でありました。私達が長く勤めてこられたのは、それぞれの地域で日々、一緒に奮闘されてきた職員の方々、そして理事長さまのお陰でございます。出席者一同を代表し、深く感謝を申し上げます。今後新しい世代の職員とともに、未来の社会福祉

と昭徳会を支え、歩みを進めてまいります」と感謝と決意が伝えられました。

国家資格等の資格を取得した方に送られる助成金については、今年度より対象資格が新たに20種増えました。この対象資格に「日本語技能検定N2」も加わり、5名の技能実習生の方が助成金交付の対象となりました

た。働きながら勉強し、資格を取得することは、容易なことではありません。特に、技能実習生の方々は母国を離れ、慣れない環境で働きながら日本語と介護の専門知識を学び、相当な努力をされてきたと思います。昭徳会は、日々努力に励む多くの職員によって支えられています。

式典後は、新型コロナウイルス感染予防対策に万全を期して、3年ぶりに懇親会を開催し、施設長の方々も参加されました。

食事は黙食となりましたが、その後の歓談では、これまで昭徳会で過した時間を振り返り、うれしかった出来事等の思い出話をしたり、上司や先輩、同僚に感謝の思いを伝え合ったりと、110周年記念にふさわしい素敵な時間を過ごすことができました。



法人本部事務局 事務員 金子 真帆

自分の幸せを分け与える

富田 舞夏

修学先生のほめて育てる方針が、本当にすばらしいと思います。当時は体罰があたりまえの時代だったのに、周りに流されずに、逆転の発想で社会をより良くできたことが今の私達に直結していると思うと、感謝でいっぱいです。やはり、ほめられるとうれしいし、もつとやったらもつとほめられる〃と思うと自ら考えて自主的に行動を起こすきっかけになると思います。当時の修学先生の考え方が、今まさに社会で適応されているので、これから良い人材が沢山輩出されるのです。私も誰かに教えたり、子どもを育てたりする時には、心に留めてやってみたいと思います。また、自分がわからなかったことも自分ではできていないんだと責めるのではない



く、ここで新たに成長できたんだ、などとポジティブに考え、成功した時には心の中で自分をほめながらやってみようと思います。自分の幸せを自分の奉仕によって他人に分け与えるような、美しく素直な心を私も持てるように、まっとうに生活していきます。

教えは現代社会にも

梅田 望愛

修学先生についての講義を聞くのは、学長先生の講義に続いて2回目となりますが、毎回、修学先生が成し遂げられた偉業には驚かされます。そして改めて日福の歴史について知ることができて良かったです。特に今回一番驚いたことは「ほめて伸ばす。体罰はやめる」といった修学先生の方針が、現代社会に残っているということだと思います。また修学先生は、自分ではなく相手のことをいつも一番に考えて行動することで、いつもその人その人に合った才能やセンスの伸ばし方を瞬時に判断されていて感心しました。先生が育てた子ども達の中には問題を起こす子や、いつもふてくされた態度を取る子がいました

が、体罰一つせず、小さな子にもきちんとわかるように丁寧に教えて、良い子に変えていく修学先生にとても驚かされました。みんなと平等に接することで子ども達をはじめ、沢山の人の信頼を得られたのではないかと思われました。私は高校の授業（GFS）を学ぶようになってから、福祉について身の回りのことで考えることが多くなりました。ここにこれがあると便利だろうとか、相手の目線に立って生活することで、今まで考えたこともなかった一面が見えるようになりました。これは、修学先生と同じで人のことを考えて生活したり行動したりすることと同じだと思います。もつと多くの人が、みんなが周りのことを考えて生活したら、もつと社会の福祉は活発になると思います。ぜひ、多くの人に修学先生のことを知ってもらいたいと思いました。

人に頼られる素敵に大人に

河田 麻鈴

修学先生の生い立ちなど本以外のこともお話ししていただき、より深く修学先生について知ることができたと思います。修学先生は本当に付属高校が好きだったのだと思います。人々のために大変な苦勞までして、本当に尊敬しています。人々のために無心で行動されてき

たわけですが、修学先生が亡くなられた年に、高校へ恩返しのようなものが沢山届き、大勢の方に愛されていたこともわかりました。自分も修学先生のように人に頼られる、人のために全力を尽くす、素敵に大人になりたいと思いました。

誰かのために生きるとは

有安 妃那

今回の講義を受けて修学先生の生い立ちと、どんなことを成し遂げてきたのか、そしてこの日本福祉大学付属高校への想いをお話から感じとることができました。今回の講話の中で「誰かのために生きる」「誰かを幸せにする」という言葉が、特に私の心に響きました。誰かのために生きるというのは、考えるのは簡単ですが、実際にそれを実行することはとてもむずかしいことかもしれません。しかし、まず意識をすることが大切だと思います。

修学先生を見習いたい

野田 幸花

今回の講義を受けて最初に思ったことは、修学先生の

努力や生き方が今もなお伝えられ、色々な人に知ってもらえて、先生の意志が受け継がれているということです。私には看護師になるという夢があり、今回の講義を聞いて見習いたいところが沢山ありました。まず、誰も差別することなく患者や子どもを助けていることです。周りの人がその人を冷たい目で見たり、見放したりしても修学先生は助けてあげていて、自分もこうなりたいと思いました。もう一つは、どれだけ苦しくても大変でもあきらめずに人々を助けていたことです。あきらめず、やっていたからこそ、周りの人からの支援があったのだと思います。

幸せの種をまこう

長坂 美佑

修学先生は付属高校に時間があつたら遊びに来ていて、付属高校が大好きだったということが伝わってきました。「幸せになりたければ幸せの種をまく」という言葉がとても良くて印象に残りました。人々を幸せにすることによって、自分が幸せになれるのだと気づかされました。戦後はすべて焼かれてしまつて、着る物も食べる物も何もなく、みんな大変な生活をしてたということがわかりました。しかし修学先生は何とか苦しい状況から救お

うと常に相手の心配をし、一番に行動していることがすばらしいと思います。そしてかつこいと思います。私も修学先生のように自分のことよりも困っている人のことを一番に考え行動できる人間になりたいと思います。そのためにも、まず身近なことから実践していきたいと考えています。



人類への直接奉仕

前山 晃穂

学園長先生の講義の中で出てきた「人類への直接奉仕に身を捧げる」ということを自分なりに考えてみて、講義で「ボランティア等を通して探す」と言われていたことが、とても良いと思いました。そして、この言葉は「人類への直接奉仕」福祉関連の支援であると感じました。医療や介護系、児童系や障がいのある方など沢山の支援先があるので、私も自分の考えた「人類への直接奉

仕」をめざしたいと思いました。

種をまけることに感謝

住田 莉愛留

私は今日の学園長のお話を聞いて、修学先生のような方が世の中に沢山いて欲しいと思ったし、日々色々なことに目を向けて考えているのがすごいと思いました。普段自分のことではいっぱいな私ですが、もっと色々な所に

『日本の福祉を築いたお坊さん』読後の感想

笑顔の増やし方

市野 美紅

私はこの本を読んで修学先生の色々な思いや願いについて知ることができました。その中で自分のためではなく、誰かのために動いて努力できる部分に心が動きました。誰かのために動きたいと思っても実際はむずかしいと思います。

私も修学先生のように誰かのために努力できたかと、今までの行動を振り返った時、一つ胸を張って言えるこ

目を向けようと思いました。私が見たり考えたりする視野はまだまだ狭いと思いました。また、「幸せの種さえまけば、幸せになれる」ということは、そのための環境が一番大切だと思いました。「自分が好きなことができる環境」「決定が自分にある環境」「応援してもらえる環境」など。このようなすばらしい環境で、自分は種をまけることに感謝して過ごしていきたいと思います。悔いのない学校生活を過ごしたいと思います。

とがありました。それは、道で転んで怪我をしてしまったおばあちゃんを助けたことです。私が中学2年のときの登校中に起こりました。そのおばあちゃんは、口の中やあごを切っていました。周りにおとなの方はいましたが、私一人で対応しました。その時は、気が動転してしまい救急車を呼ぶということが頭になく、とりあえず止血を始めました。おばあちゃんが家に帰ると言ったのでそのまま家まで送りました。今思うと救急車を呼び、病院に行った方がよかったと後悔している部分もあります。しかし、おばあちゃんのことを一番に考えて行動できた

ので、誰かのためを思って行動することが自分にもでき
たと思います。自分が苦しい状態の時や辛い状態の時に
世のため人のためを思って行動した修学先生ですが、私
だったら自分が辛い時、人のためを思って行動できませ
ん。人のためならあきらめずに努力し続ける情熱には感
動しました。「真心をもって事業をすれば、助けてくれ
る人がいる」の言葉を心に留めて、生活していきたいと
思いました。

人のために動くことは、簡単のようでもずかしいこと
だとも思います。私もおばあちゃんを助けた時のように、
これからも誰かのことを一番に考えて行動できる人にな
りたいと思いました。そのために常に周りを気遣い、自分
にできることを探し、行動していきたいです。そして一
人でも多くの人が笑顔で生きていける世界にしたいと強
く思いました。

未来を託される、地道なりーダーに

竹内 琳香

この本を読んではじめに思ったことは、入学当初から
聞いていたリーダーの存在についてです。鈴木修学先生
の成し遂げた偉業をみると、まさに理想的なりーダーだ
ったと感じました。自分より他人のことを考えて動き、

お坊さんになりたいという明確な自分の目標をもって
いるところがすごいと思いました。普通は自分の目標に向
かって一生懸命になれる人と、頑張っている人や助けを
必要としている人の支えになる人の二つに分かれるもの
だとも思います。しかし、修学先生は他人のためだけに
なく、自分のこともよく考えているのです。決して自分を
甘やかさず、追いやられた子ども達を責めず、自分の意
志を曲げない強い精神力も兼ね備えています。誰も人
から信頼を得るには時間がかかります。しかし、多くの
人から寄附が集まったことが修学先生への信頼の厚さを
証明していると思いました。

修学先生が日本福祉大学を創った理由に「日本の未来
を託す若者を育てる」という言葉がありました。日本福
祉大学の学長先生のお話の中にあつた内容と通ずる部分
があり、修学先生の意思はこのように引き継がれてい
ると感じました。

法華経の教えはどれも優しさが不可欠だと思いました。
私は優しさを持ち合わせていない人間はいないと思っ
ています。誰でも、少しの意識で人に喜びを与えられ
ます。少しの我慢で生まれない争いごとがあります。少しの行
動で得られる信頼があります。私はこの本を読んで、何
度も自分はこんな大きなことはできないと感じました。
途中でくじけてしまうと思います。しかし、リーダーの

素質のお話でわかったことは、引っ張るだけがリーダーではないということです。きっと私は寄付する側に回ります。修学先生のような行動はできませんが、私は私なりに未来を託される若者になる努力もしようと思えました。

行動の大切さ

榊原 寧々

私は、将来、人を助ける職業に就きたいと考えています。しかし、どのように行動すればいいのか全くわからずにいます。「人の命を預かる」ということは私には荷が重すぎるとは思わないかと思ったり、人によっては「手に手伝われない」と思う方もいると思います。

この本では「幸せの種」という言葉が登場します。ここでは「法華経の教えを実行すること」と書かれています。私に私にとつての「幸せの種」とは一体何だろうと考えました。自分の解釈ですが、「幸せの種」とは人の役に立つために自分ができることだと考えました。私が普段からできることは、「ごみ拾い」や「落とし物を拾う」などの小さな行いですが、それが自分の幸せにつながっていくのではないのでしょうか。これからの生活でも「幸せの種」を見つけて、実行していきたいと思いました。

修学先生は、ハンセン病患者の療養施設で働くことになりました。私は「ハンセン病」のことを知りませんでした。当時は恐ろしい病気であると言われていた病気で、私がハンセン病のことを知らなかったように、今、流行している新型コロナウイルスも、将来同じように忘れられてしまうのかもしれない。ハンセン病の患者さん達は家族からも縁を切られていたため、療養費用もありませんでした。それでも修学先生は、人の命を助けるために行動し続けたことが、とても素敵なことだと思いました。

最初に述べたように、私は人を助ける職業に就きたいと考えています。その思いがある中でもどのような行動をとるべきか、まだわかりません。しかし修学先生は「人の命」のために多くのことを行いました。「何をなすべきか」考えながらも、誰かを助けることができます。修学先生の生き方から「行動」することの大切さを学ぶことができました。

ごく自然に、あたりまえに、手を差し伸べる

神野 結月

私が福祉に興味をもったのは、近年の日本の少子高齢化に関する情報を目にした時です。学ぶ機会は何度もありました。高年齢を支える若い世代が減少するという

現実を改めて知った時、私は福祉の道に進むことを考え始めました。

情報社会を生きる私が福祉に興味を持ったのがつい最近の出来事だととらえると、修学先生の周りを見る力はすばらしいと思いました。時代に先駆けて自ら率先する行動力や、多くの人の信頼を得る人柄に心打たれるものがあり、当時の人が先生についていこうとした心情がわかった気がしました。

読み進めていく中で、修学先生と奥さんのみつさんが自らの持ち物を引き換えに療養所に住まう患者さん達の着物を用意した場面が、私の中で特に印象に残っています。この時、修学先生は、とても大切にしていた金の懐中時計を、みつさんは花嫁仕度で仕立ててもらった晴れ着を質屋に持っていきました。二人とも、自らがとても大切にしていた物を、患者さん達のために着物に換えました。

誰かのために、自らを犠牲にするということは、大きな代償のもとではないけれど私にも経験があります。相手を思う気持ちから、必然的にその行動を取ることは、恐らく経験したことのある人が多いと思います。しかし、この時の二人は、自らを犠牲にしたとは思っていないと私は考えます。困っている人、悩んでいる人、その理由が何であれ、誰かに助けを求めている人がいれば、手を

差し伸べて道を作る。修学先生とみつさんの二人にとっては、ごく自然なあたりまえのことだったのでないかと思えます。

修学先生が日本福祉大学を築き上げるまでには、大きく分厚い壁が何重にも立ちはだかつていました。その道をくじけず歩んでいこうとする心意気の奥深さを、当時の時代背景を意識しながら、もっと知りたいと思えました。

人と向き合うきっかけ

岡本 拓己

この本からは、生きる上で大切なことが沢山読み取れました。読み始めの修学先生の印象は、あまり良いものではありませんでした。彼は勤勉で人柄も良く、若くして成功を取めた上で、自分は幸せなのかと考えるのです。十分な人生ではないか、と私は思いました。多分うらやましかつたのだと思います。私は、この先、自分が成功するかもわからなくて不安なこの時期にいます。それなのに、いきなり成功した話を聞かされて、私は幸せなのか、と悩んでいる修学先生を、ひねくれ者の私は少し妬ましく思いました。しかし、このような思いも、本を読み進めていくうちに変化し、修学先生のすごさを理解す

るようになりませう。

修学先生は行動力が飛び抜けていました。「これだ」と感じるとすぐに宗教に入信し、任されたことも全力で取り組み、孤児となった子ども達のために孤児院を作り、他の地域にはあるが中部地方にはないとわかると大学を建ててしまうほど、桁違いの行動力に私は感服しました。私自身は、自分に自信が持てず、上手く行動することができません、私は修学先生のようになりたいと憧れを持つようになりませう。

修学先生は人のために行動を起こします。この本では思いやりの心や、周りの人との交流などを重要視する表現が何度も書かれています。

自分のことが第一になつていゝる私は、この部分を読んでいゝし価値観が変わり始めませう。これまで会話したこともなかつたクラスメイトが、コンピュータの操作に困つていゝるのを見た時、思い切つて操作を手伝つたことがありませう。その時、思つていゝた以上に感謝されたことを思い出しましませう。自分がただ内向的になつ



て快えていゝただけだつたのです。内気になつていゝる自分に対して腹が立ちませう。しかし同時に、今からでもいゝから、もつと積極的になつてみようと思つようになりませう。

この本を読み終えた時、自分の心の持ち方と、周りの人に対する価値観が少し変わつていゝました。対人関係はまだまだ苦手ですが、少しづつ頑張ろうと思ひませう。

人のためにする行動

小川 凜

私がこの本を読んで驚ひたことが二つありませう。

一つ目は、修学先生は、自分のことよりも他人のことを優先して行動していゝるところです。小さい子どもや大人、身体が不自由な人、病気の人、高齢者まで、どんな人でも助けを求められたら見返りを求めずに助けていゝました。自らその人達のところへ駆けつけてどんな犠牲を払つても構わないという姿がとてもかっこいいと思ひませう。自分達の生活が苦しくなつたり、お金が必要になつた時には、大事なものをお金に換えていゝたところにも驚ひませう。もし自分だつたら、と考えると、どんな犠牲を払おうと駆けつけることも、自分にとつての大事な物をお金に換へることもできなかつと思ひませう。困つてい

る人、手を貸して欲しい人などが自分の目の前にいたとしても、多分私は、助けてあげたいという気持ちがあつたとしても、行動することはむずかしいと思います。大事な物をお金に換えることも同じです。このどちらの行動も大きな決断力と行動力が必要だと思います。これを行っていた修学先生を尊敬します。

二つ目は、修学先生の人との接し方です。身体が不自由だから、高齢者だから、子どもだからと差別や偏見を持たずに一人一人の行動や性格を見て、それに見合った接し方をしていました。それは、相手の行動や考え方を全否定するのではなく、まず受け入れてからその意見を尊重しているから、素直になる子が増えていくのだと思います。

この本を読んで、気づかされたことや、学んだことが沢山ありました。修学先生の決断力や行動力、考え方を取り入れて人のために行動できるようになりたいと思いました。

杉山先生から学んだこと

兼松 菜々美

私がこの本を読んで感じたことは、杉山先生がおっしゃる言葉はどれも今の私達にも当てはまる話だということ

とです。そして、それを行動に移すことのできる修学先生の行動力です。

杉山先生の教えはとても深いものばかりで、自分の力だけでは答えを見つけないことのできないものもありました。特に「功德を積むとは一体どういうことなのでしょう。どのようなことをすれば、功德を積むことができるのでしょうか」という修学先生からの質問に対する杉山先生の言葉である「困っている人を助け、法華経を信仰する善人を作ることです。自分でできることで、立場を通し、仕事を通して人の喜ぶことをして導くのです」という言葉です。自分では思いつくことができませんが同時に、自分の日常生活に視点を置き換えて考えることもできると思いました。それは、困っている人を助けて自分達を応援してくれる人達を増やし、その中で、自分でできることを見つけていき、自分達を応援してくれる人達を喜ばせることで功德を積むことになるのではないかと思います。私は吹奏楽部に所属しています。吹奏楽部は聴いてもらう人達がいるからこそ成り立つものです。この杉山先生の言葉は、私達にとってもとても大切な言葉だと思います。

人に応援されるためには、支えてくれる人を作るためには、自分達でできることを探して、人のために動ける

ような人間になり、応援してくれる人達に恩返しできるような人間、吹奏楽部になることなのではないかと思えます。

この本には昔の人達だけでなく、今の自分達にとっても沢山考えさせられる杉山先生の言葉が書かれています。今回学んだことを心にしっかり留めておき、これからの高校生活や今後社会に出た時も生かしていきたいと思えます。

努力の大切さ

磯部 紗希

私は『日本の福祉を築いたお坊さん』という本を読み、あらためて自分の行動を振り返るきっかけになったと同時に、他人のために努力することの大切さを知ることができました。

まず、お話の中心となる修学先生は、法華経の教えに基づいて戦前からハンセン病、知的障がい児、戦災孤児などの福祉を頑張ってこられた方で、日本福祉大学を設立された方でもあります。私にはこのように沢山の福祉に力を入れているところが、とても魅力的でした。私は一つのこと集中することが苦手で、修学先生のような生き方は本当にあこがれます。自分と照らし合わせてみ

ると、私には宗教の知識がまったくないだけでなく、物事を長く継続することも苦手です。そのため、自分の得意な英語を1日どれくらい勉強するかなど、目標を立ててみるのが大切だと思いました。これからは、継続させるために、小さな目標を作って実行していきたいと考えています。

次に、他人のために努力するということは、私にとつて本当に大切なことだと感じています。なぜなら、それは私の将来の夢と関係しているからです。私の将来の夢は、警察官になることです。この夢は私が保育園の時から一度も変わっていません。初めの頃はあこがれでしたが、学年が上がっていくにつれ、人のために動くことや、頼ってもらえることが好きになり、自分に合っているのではないかと感じています。警察官は国家公務員のため、資格取得はむずかしいと思います。そこでまずは努力をして、夢が叶ったら色々な人と関わる中で礼儀を正したり、相手にとって気持ちの良い態度で対応することをしたいと思っています。私はこれが他人のために努力することだと感じています。

この本と出会ったお陰で、自分の将来のことについて深く考えることができました。自分の夢を叶えるためにも、高校生活でみんなを支えることができるように努力していきたいと思えます。



幸せの種まき

自分の喜びはさておいて

まず先に相手を喜びませましょう

相手の喜ぶ姿を見て自分も喜ぶ。

法華経は間接的な喜びを教えています。

大乗山 法音寺



編集後記

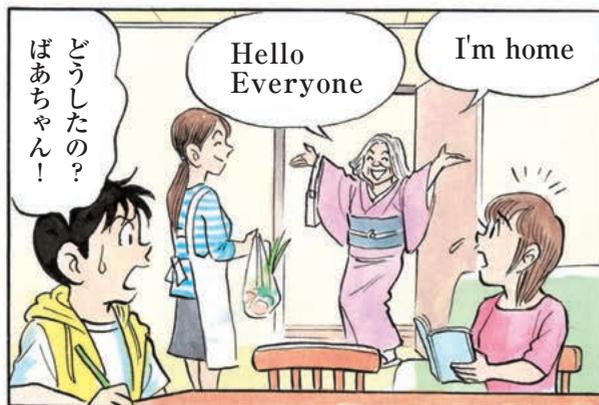
今月号では、御開山会の生中継について特集を組みました。全国から寄せられた感動の声に、二年分の思いがこもっているような気がしました。

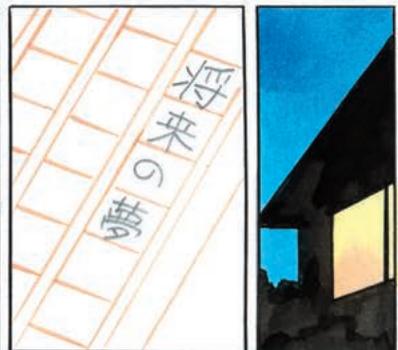
ちょっとした裏話ですが、当日、本堂の撮影を担当された方は、14年前（三徳開教百年の際）に法音寺が製作した記念動画に携わったカメラマンでした。当のご本人もそのことをすっかり忘れていて、当日スクリーンに映し出された映像を見て、「これは自分が撮影したシーンだ」と思い出したのだとか。単なる偶然と言えばそれまでですが、私には初の御開山会中継に、御開山上人が実績のあるカメラマンを連れてきてくださったように感じました。いずれにせよ、プロの技のお陰で、全国の方々に本山の空気が届けられ、寄せられた声には感動の言葉が並んだのです。

御開山会は私達が法音寺信仰の原点に立ち戻って初心に返る日。日々、法音寺のみ教えにふれている私達は「三徳を日常でしっかりと実行できていくか」を振り返り、誓いを新たにいたします。

いまを生きる

竹中 淳





野球は好きだけど
ボクよりうまい子は
いっぱいいるし



みんなめざすものが
あつていいなあ

ボクも小さい頃から
何か習ってたら
よかったなあ



このまま夢もなく
ボーッとしてたら…



まちがいでなく
ボクの将来は
真つ暗じゃないか

あゝダメだ
どんどん不安に
なつていく



そのモヤモヤした
どす黒い不安は
消えることなく

一晩中
大きな石のような重さで
ボクを押しつぶそうとした



蓮 大丈夫？
ちゃんと寝た？

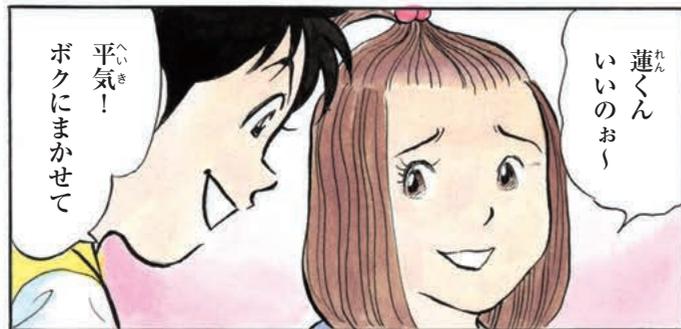
目が
死んでる…







図書室





蓮くん
ありがとう

助かったわあ



笑わない？

ねえ蓮くんは
小さいころ何に
なりたかった？

3組の担当は
この棚よ
この番号順に
並べて！

先生 何
したらいい？



テレビで
やってたでしょ

伝説の
スーパーヒーロー
ジャスティスV

笑わないわよ



違うの
さっき困ってたひろみちゃんを
助けてあげた蓮くんが
スーパーヒーローに
見えたからよ

フフフ…
ホラ
笑ったあ



ふたりとも
うれしそうで
いい笑顔
だったよ
あの時って
将来の不安
なんて忘れて
なかった？



蓮くん
将来って
未来だよ

未来は未来に
できていくって
思っていない？

未来は
未来でしょ



違うわよ

未来は今
その一瞬一瞬が
積み重なって
できていくのよ

蓮くんがこれから
家へ帰って
することも
明日学校で
することも
みんな未来



今の積み重ねが
ボクの将来…



蓮くんのこれからの行動の
一つひとつが未来
つまり将来を作っていくの

だから
今を充実させて
どんどん積み重ねていけば
充実した未来があるはず



ねえ
まだ
モヤモヤした
不安ある？



将来の夢

ボクは、宿題中にゆうわくに負けてマンガを見たり、まだまだみじゅくです。でも将来は、人にやさしく、自分にきびしいスーパーヒーローになりたいです。

南蓮

がんばって修行して 夢をかきなえろ下さい 先生より

おしまい



法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和4年7月号・No.633・令和4年7月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社